

レジメン名称 キイトルーダ(d1)+GC(d1,d8) q3w

胆道癌

ID

患者氏名

様

(性別)

身長

cm

体重

kg

年齢

歳

体表面積

m²

薬剤	投与量	投与日		1 コース 3 週間 (最大 8 コース)	
		Day 1		8	
キイトルーダ	200mg/body	↓		↓	
シスプラチン	25 mg/m ²	↓		↓	
ゲムシタビン	1000 mg/m ²	↓		↓	

レジメンオーダー以外に必要な処方

必要時 (制吐剤予防投与) : 点滴翌日 ~ : デキサメタゾン (デカドロン) 4~8mg 1×朝 2 日間 内服

注意事項

臨床試験 (KEYNOTE-966) では最大 8 コース、その後はキイトルーダ+ゲムシタビン、またはキイトルーダ単剤 3 週間間隔
の維持療法へ

キイトルーダはインラインフィルターを通して投与すること

キイトルーダ : インフュージョンリアクション (気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど) に注意。

初回および 8 週以上あいた時 : 心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり (詳細は投与方法の項を参照)

グラニセトロンは生食 500mL 開始 30 分後に開始です

特に注意する副作用

間質性肺疾患、重症筋無力症・心筋炎・筋炎・横紋筋融解症、大腸炎・重度の下痢、1 型糖尿病、免疫性血小板減少性紫斑病肝機能障害・肝炎、甲状腺機能障害、神経障害、腎障害、副腎障害、脳炎、重度の皮膚障害、膵炎、下垂体機能障害
インフュージョンリアクション

投与方法：1日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの フィルター付き 点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	キイトルーダ 200 mg, 生食 50 mL インラインフィルターを通して投与 30 分かけて点滴、メインルートから投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
3	生食 50 mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 15 分間、残破棄可
4	フィジオ 140 500mL、硫酸 Mg 補正液 7 mL 60 分かけて点滴、メインルートから投与
5	生食 500mL 60 分かけて点滴、メインルートから投与 次のグラニセトロンはこの生食開始 30 分後に開始
6	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 3A 30 分かけて点滴、下の側管から 5 の生食開始 30 分後に開始（生食とグラニセトロンは同時投与）
7	※メインルートを止めてから マンニトール S 300mL 1V 30 分かけて点滴、下の側管から投与
8	シスプラチン mg、生食、全量 500 mL 60 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与
9	生食 100mL、メインルートから投与 ウォッシュアウト、ゆっくり、15 分ほど、その後止める。 最後まで使用するので使い切らないこと
10	※メインルートを止めてから ヴィーン F 500mL 60 分かけて点滴、下の側管から投与
11	ゲムシタビン mg、生食 100 mL 30 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与
12	9 の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄

投与方法：8日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	フィジオ 140 500mL、硫酸 Mg 補正液 7 mL 60 分かけて点滴、メインルートから投与
3	生食 500mL 60 分かけて点滴、メインルートから投与 次のグラニセトロンはこの生食開始 30 分後に開始
4	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 3A 30 分かけて点滴、 下の側管から 3 の生食開始 30 分後に開始 （生食とグラニセトロンは同時投与）
5	※メインルートを止めてから マンニトール S 300mL 1V 30 分かけて点滴、 下の側管から投与
6	<u>シスプラチン</u> mg、生食、全量 500 mL 60 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与
7	生食 100mL、メインルートから投与 ウォッシュアウト、ゆっくり、15 分ほど、その後止める。 最後まで使用するので使い切らないこと
8	※メインルートを止めてから ヴィーン F 500mL 60 分かけて点滴、下の側管から投与
9	<u>ゲムシタビン</u> mg、生食 100 mL 30 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与
10	7 の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄